

【第1号報告】令和2年度事業報告について

令和2年度事業報告

1 総会・専門部会の開催

(1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会をWebで開催した。

※医療関連産業促進Webセミナーと同日開催

開催日：令和2年7月8日（水）17：05～17：30

場 所：オンライン会場

参加者：会員参加者 約50名

(2) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けての看護関連機器開発促進を目的とした、看護関連機器開発部会（部会長：大分県立看護科学大学 看護研究交流センター 影山教授）及び関連事業については、新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえて開催を中止した。

(3) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向け、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発促進を目的とした、介護・福祉関連機器開発部会（部会長：大分大学理工学部 今戸名誉教授）及び関連事業については、新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえて開催を中止した。

2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業参入促進セミナー

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）や大分大学等と連携し、医療産業参入促進セミナーを開催した。

●医療関連産業参入促進 Web セミナー

東九州メディカルバレー構想の取組、ものづくり企業と医療・介護・福祉関係者との連携に関するセミナーを開催した。

日 時：令和2年7月8日（水）14：00～17：05

場 所：オンライン会場

参加者：320名

概 要：

講演Ⅰ 産学官連携による医療機器産業の集積と地域活性化

国立大学法人大分大学医学部附属臨床医工学センター

教授 穴井 博文 氏

講演Ⅱ 経済産業省における今後の医療機器開発の方向性

経済産業省 商務・サービスグループ

ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室

室長補佐 宮本 哲哉 氏

講演Ⅲ 福祉用具開発最前線

—良質な情報で、「新しい日常」も意識した機器開発を—

特定非営利活動法人 NPO 福祉用具ネット

副理事長兼ものづくり支援センター長 坂田 栄二 氏

●東九州メディカルバレー構想推進大会（後掲）

東九州メディカルバレー構想推進大会の開催に併せて、講演・セミナー等を実施した。

●医療関連機器ニーズ発表会

ニーズ発表会の中で医療従事者の発案による機器開発を紹介するためのセミナーを開催した。

日 時：令和2年12月13日（日）10：00～11：50

場 所：オンライン会場 及び アステム大分本社4階大会議室

参加者：100名（オンライン58名、現地会場42名）

概 要：

講演 臨床現場での閃きから開発へ、アイデアを商品に

講師 大幸医工学研究所 新里 高広 氏（医師）

●介護・福祉関連機器ニーズ発表会

介護・福祉関連機器ニーズ発表会の中で、介護福祉従事者の発案による機器開発を紹介するためのセミナーを開催した。

日 時：令和3年3月25日（木）15：00～17：00

場 所：オンライン会場

参加者：36名

概 要：

講演 福祉機器製作の経験から一就労施設での取り組み

講師 社会福祉法人太陽の家 健康サポートセンターたいよう

アドバイザー 小田 博道 氏

(2) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、大分大学及び東九州メディカルバレー構想推進会議と共催で、構想策定10周年の推進大会を開催した。

●東九州メディカルバレー構想10周年記念推進大会

〔1日目〕

日 時：令和2年10月23日（金）15：30～17：30

場 所：ホテル日航大分オアシスタワー5階 孔雀の間

参加者：185名

概 要：

基調講演 医療・介護を支える新産業「サイバニクス産業」始動

～ダイバーシティで加速するメディカルバレー構想と大分県への期待を込めて～

講師 CYBERDYNE(株) 代表取締役社長/CEO

筑波大学 システム情報系 教授 山海 嘉之 氏

〔2日目〕

日 時：令和2年10月24日（土）10：00～12：00

場 所：ホテル日航大分オアシスタワー5階 孔雀の間

参加者：87名

概 要：記念セミナー・特別対談

テーマ「サイバニクスで拓く医療イノベーションの未来」

登壇者 山海 嘉之 氏

福岡大学医学部脳神経外科主任教授 井上 亨 氏

大分県副知事 黒田 秀郎 氏

〔1日目・2日目共通〕

記念企画 医療・介護を支える新産業「サイバニクス産業」

「感染症対策関連機器等 見本市」

会期：令和2年10月23日（金）～24日（土）

1日目：13：00～18：30 2日目：10：00～15：00

場所：いいちこ総合文化センター iichiko アトリウムプラザ

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会

会員企業による新規の機器開発案件を探すため、大分大学や医療・看護・介護・福祉の関係団体等と連携してニーズ探索会を実施した。また、ニーズ提供のあった施設と連携し、オンラインによる現場紹介を実施した。

●大分大学医療機器ニーズ探索交流会

開催日：令和2年11月19日（木）15：00～17：00

11月20日（金）15：00～17：00

場 所：オンライン会場

参加者：1日目60名 2日目52名

概 要：

テーマ 内視鏡

対象診療科 呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科

開催内容 臨床現場のビデオ上映、ニーズ発表

●医療関連機器ニーズ発表会

開催日：令和2年12月13日（日）10：00～11：50

場 所：オンライン会場 及び アステム大分本社4階大会議室

参加者：100名（オンライン58名、現地会場42名）

概 要：

県内の臨床工学技士から応募のあったニーズを発表

●介護・福祉関連機器ニーズ発表会

開催日：令和3年3月25日（木）15：00～17：00

場 所：オンライン会場

参加者：36名

概 要：

県内の介護・福祉の現場で働く方から応募のあったニーズを発表

動画や画像による介護・福祉現場の紹介

(2) 医療関連機器開発ビジネスマッチング会

九州ヘルスケア産業推進協議会、福岡県、熊本県、宮崎県の関係機関との連携の下、医療機器メーカーへの部品供給やOEM受注に向けて、医療機器メーカー等と県内ものづくり企業とのマッチング会を開催した。また、コーディネーターによるマッチング後のフォローアップも実施した。

●医療関連機器開発ビジネスマッチング会

開催日：令和2年11月24日（火）～27日（金）

場 所：オンライン会場

参加企業：大分県8社

概 要：合計17件の個別面談を実施

●熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへのオンライン展示・商談会

開催日：令和2年11月30日（月）～令和3年1月20日（水）

場 所：オンライン会場

参加企業：5社

概 要：合計17件の個別面談を実施

(3) 医療関連機器等事業化支援プラットフォーム

社会福祉法人大翔会、農業共済別府リハビリテーションセンター、プラト一大分リハビリデイサービスぷらす南大分の協力のもと、開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発等を行うワーキンググループの活動を支援するとともに、試作品開発に要する経費に対し助成を行った。

(4) 医療機器開発人材育成支援事業

県内での医療機器開発を促進するため、医療機器の研究開発や事業化、法規制等に関する研修会の開催や運営を支援した。

●大分大学医療機器開発ビジネススクール

大分大学の事業へ協力し、医療機器開発の専門家による講演を開催した。

日 時：令和2年10月29日（木）10：00～16：50

場 所：オンライン会場

参加者：139名

概 要：

講演1：総論：ビジネス規制・保険収載

合同会社コンピエーレ 代表取締役社長 麻坂 美智子 氏

講演2：出口戦略・製品コンセプト

株式会社メディカルラボパートナーズ 代表取締役 清水 美雪 氏

講演3：知的財産

日本医療研究開発機構 (AMED) 実用化推進部 実用化推進・知的財産支援課 知的財産コンサルタント 富畑 賢司 氏

講演 4：薬機法

オフィス長谷川合同会社 代表 長谷川 友紀 氏

講演 5：QMS 省令等

オフィス長谷川合同会社 代表 長谷川 友紀 氏

講演 6：治験・臨床研究法

日本医科大学 医療管理学 特任教授

(研究統括センター 副センター長) 松山 琴音 氏

※各講演内容については、大分大学医学部附属臨床医工学センターのSNSネット®で録画の視聴も可能。

4 研究開発補助事業

(1) 医工連携医療関連機器等研究開発推進補助事業

大学、医療機関及び県外企業等と連携した、会員企業が行う新たな医療関連機器等の研究開発に要する経費に対し助成を行った。

	企業名	テーマ
1	(株)スカイテクノロジー	ME 機器のアラーム音検出機の開発・改善
2	(株)トライテック	事業化へ向けた、ハイブリッド型硬性内視鏡用洗浄カバーの開発
3	(株)オーイーシー	皮膚科の医療支援を目指す 専用 AI プログラムを組み込んだ皮膚の炎症診断支援ソフトウェアの研究開発

(2) 新型コロナウイルス感染症対策医療関連機器等開発事業

新型コロナウイルス感染症対策に取り組む医療機関の現場ニーズに基づいて、会員企業が取り組む医療関連機器等の開発に要する経費に対し助成を行った。

	企業名	テーマ
1	ケイ・デザイン	フェイスシールドの量産化試作
2	シェルエレクトロニクス (株)	医療・介護施設向けフェイスシールドの製品化開発
3	協和包材 (株)	製袋機を活用した防護服の開発
4	トクソー技研 (株)	簡易陰圧装置の研究開発
5	キューメイ研究所	新型コロナウイルス感染症の迅速簡便抗原検査および抗体検査キットの開発

(3) 医療機器認証等取得等支援補助事業

会員企業が開発した医療機器について、届出に必要な試験に係る経費に対し助成を行った。

	企業名	概要
1	トクソー技研 (株)	一般医療機器クラス I (一般的名称：気管内チューブカフインフレーター) の届出に係る電氣的安全試験等の実施

- (4) 新型コロナウイルス感染症対応医工連携医療関連機器等研究開発推進事業
 新型コロナウイルス感染症対策、「新たな日常」への対応を支援する機器
 開発を促進するため、会員企業が新たな医療関連機器やソフトウェア等の研
 究開発に要する経費に対する助成を決定した（令和3年度中に完了予定）。

	企業名	テーマ
1	(株) エイビス	ベッドからの転落、転倒予測アラーム発生時に自動で声掛けをする装置の開発
2	(株) 医療IT研究所	介護現場における感染症対策を考え非接触で業務量を減らし介護負担軽減を目指す!! 「見守り・ナースコール・バイタル・記録を連携、排泄予測検知」による「安心介護記録システム」の開発
3	(株) ナノプラネット 研究所	光マイクロバブル水を用いた菌周細菌等の微小時間における不活化装置の開発
4	(株) オーイーシー	医療機関の働き方改革を実現する医療機関向け勤怠管理システムの研究開発

5 専門家派遣事業

(1) 大分県医療関連機器開発アドバイザー派遣

機器開発から販路開拓までの各分野の専門家をアドバイザーとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じたアドバイザーを派遣し、医療関連機器産業への参入に向けたハンズオン支援を行った。

【アドバイザー】

- 吉田 安幸 氏（元 旭化成株式会社 専務取締役）
- 池田 喜一 氏（元 独立行政法人産業技術総合研究所 産学官連携推進部門コーディネーター）
- 佐藤 浩二 氏（元 社会医療法人敬和会 法人統括リハビリテーション管理部長）

●大分県医療機器開発アドバイザー吉田安幸氏との意見交換会

東九州メディカルバレー構想10周年記念推進大会イベントとして、吉田アドバイザーとの意見交換や個別相談を実施した。

開催日：令和2年10月23日（金）～24日（土）

場 所：ホテル日航大分オアシスタワー 等

概 要：

- 医療関連分野への参入を目指す企業との意見交換（10名参加）
- 医療関連機器開発等の個別相談（6社・団体）

(2) 専門家派遣

医薬品医療機器等法に係る専門家（コンサルタント）を派遣又は相談会を開催し、薬事に関する法規制等への対応を支援した。

【派遣した専門家】

- ① C E野口企画 野口代表とチーム大分との人工呼吸器開発に関する意見交換会
C E野口企画 野口 裕幸 氏
- ② 医療関連機器における安全評価基準等の相談
九州ヘルスケア産業推進協議会
プロジェクトマネージャー 船津 和幸 氏

6 販路開拓・拡大事業

(1) おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

会員企業が開発・製造する医療関連機器の医療・福祉現場への導入を促進するため、県内医療・福祉機関が新たに機器を導入する経費等に対し助成を行った。

登録機器：92機種（令和元年度 43機種）
申請件数：27件（令和元年度 26施設）

(2) 展示・商談会等

東九州メディカルバレー構想の情報発信、会員企業が開発した医療関連機器の販路開拓、会員企業と製造販売企業とのマッチングのため、宮崎県・HAMIQ等と連携し、オンラインも含めた展示会・商談会等に参加した。

●国際福祉機器展 H. C. R. 2020

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、代替企画として開催された「福祉機器 web」（H. C. R. Web サイト内）での出展社・製品情報の掲載を行った。

開催日：令和2年10月21日（水）～令和3年3月31日（水）

場 所：オンライン会場

出展企業：6社

（株）ブライテック、エアロシールド（株）、（株）AKシステム、シェルエレクトロニクス（株）、ケイ・デザイン、（有）大分サーバー

●大分県病院学会

開催日：令和2年12月1日（火）

場 所：オンライン会場

出展企業：3社

（株）AKシステム、シェルエレクトロニクス（株）、ヘルメット潜水（株）

- 熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへのオンライン展示・商談会
開催日：令和2年11月30日（月）～令和3年1月20日（水）
場 所：オンライン会場
出展企業：5社
（株）AKシステム、（株）佐々木精工、（株）ケイ・エス・ケイ
シェルエレクトロニクス（株）、ヘルメット潜水（株）
- 医療と介護の総合展 大阪（メディカルジャパン大阪）
開催日：令和3年2月24日（水）～26日（金）
場 所：インテックス大阪
出展企業：6社
ケイ・デザイン、ヘルメット潜水（株）、（株）AKシステム
シェルエレクトロニクス（株）、トクソー技研（株）、
（株）ウエキコーポレーション
- （3）販路開拓支援事業
会員企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成の公募を行ったが、申請は無かった。
- （4）おおいた産感染症対策機器・医療関連機器等情報発信事業
東九州メディカルバレー構想の取組による社会貢献を実現するため、会員企業が開発した新型コロナウイルス感染症対策機器、医療関連機器について、見本市の開催やWEBによる情報発信を行った。
- 新型コロナウイルス感染症対策関連機器 見本市
開催日：（第1回）令和2年7月10日（金）
（第2回）令和2年10月23日（金）～24日（土）
（第3回）令和3年2月5日（金）
場 所：（第1回、第3回）レンブラントホテル大分 二豊の間
（第2回）いいちこ総合文化センター iichiko アトリウムプラザ
出展企業：第1回15社、第2回15社、第3回16社

また、開発機器の販路開拓や改良に向けて、医療従事者と会員企業との連携交流のための展示・交流スペース「メディバレーおおいた」の設置に着手した。

(5) おおいた産製品海外展開支援事業

東九州メディカルバレー構想で掲げるアジアへの貢献、会員企業が開発した機器等の販路開拓のため、タイを中心に ASEAN 諸国への販路開拓へ向けた支援プラットフォームを設置し、タイ（バンコク都及びサムサコン県周辺地域）での情報収集、病院・施設等のニーズ調査、おおいた産製品のPRを実施した。

7 コーディネーターの配置

(1) コーディネーター配置

会員企業の医療関連機器産業への新規参入をワンストップで支援する体制を強化するため、会員企業による機器開発から販路開拓まで伴走し、フォローするコーディネータ（1名）を雇用した。

その他

○大分大学医学部附属臨床医工学センターが実施する「次世代医療機器連携拠点整備等事業」のニーズ探索交流会やビジネススクール、医療ロボットダイバーシティ・HAL 研究会が開催する「医療ロボットダイバーシティ・HAL 研究大会」など、関係団体が実施する事業への連携を行った。

○近隣県の団体と連携を図るため、「東九州メディカルバレー構想推進大会」（記念企画含む）は宮崎県と、「医療関連機器ビジネスマッチング会」は宮崎県及び福岡県の団体と、「熊本・大分・宮崎 医療機器メーカーへのオンライン展示・商談会」においては熊本県及び宮崎県の団体と連携して実施した。

また、福岡県（ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク）が開催する「令和2年度 医工連携フォーラム・ビジネスマッチング会 in 飯塚」の開催について、マッチング面談の支援を行った。

【第2号報告】令和2年度収支決算について

令和2年度収支決算

事業期間 自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 ①	10月補正予算額 ②	3月補正予算額 ③	決算額 ④	差引額 ④-③	備 考
1 負担金収入	42,155,000	88,901,000	51,203,000	51,203,000	0	大分県3月補正予算等による負担金減
2 雑 収 入	0	0	25,200	25,423	223	関係団体合会参加の際の旅費の支給
当期収入合計	42,155,000	88,901,000	51,228,200	51,228,423	223	
前期繰越金	12,562,495	12,562,495	12,562,495	12,562,495	0	
収入総合計(A)	54,717,495	101,463,495	63,790,695	63,790,918	223	

2 支出の部

(単位:円)

科目	当初予算額 ①	10月補正予算額 ②	3月補正予算額 ③	決算額 ④	差引額 ④-③	備 考 (10月補正予算と決算額の主な変動理由)
1 協議会運営	400,000	400,000	800,000	815,144	15,144	
旅費	10,000	10,000	10,000	8,120	△ 1,880	
食糧費	50,000	50,000	20,000	11,172	△ 8,828	
その他需用費	80,000	80,000	80,000	56,350	△ 23,650	
役務費	190,000	190,000	230,000	254,860	24,860	
使用料及び賃借料	20,000	20,000	10,000	16,942	6,942	
負担金	50,000	50,000	450,000	467,700	17,700	大分県工業連合会への事務処理依頼負担金による増
2 医療関連産業参入促進セミナー等	2,142,000	2,142,000	2,100,000	2,150,111	50,111	
報償費	300,000	300,000	60,000	38,050	△ 21,950	セミナー講師謝礼の減
旅費	192,000	192,000	0	102,530	102,530	セミナー講師旅費の減
委託料	300,000	300,000	250,000	242,055	△ 7,945	
食糧費	200,000	200,000	390,000	386,520	△ 3,480	
その他需用費	150,000	150,000	780,000	770,990	△ 9,010	
役務費	50,000	50,000	50,000	42,756	△ 7,244	
使用料及び賃借料	450,000	450,000	70,000	66,550	△ 3,450	セミナー会場借上代の減
負担金	500,000	500,000	500,000	500,660	660	
3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	9,500,000	9,500,000	9,880,000	8,571,134	△ 1,108,866	
報償費	0	0	10,000	36,830	26,830	
旅費	400,000	400,000	0	0	0	県外調査旅費の減
委託料	8,600,000	8,600,000	8,600,000	7,519,092	△ 1,080,908	
その他需用費	0	0	90,000	83,820	△ 6,180	
使用料及び賃借料	0	0	460,000	451,950	△ 8,050	二一三説明会会場借上料の発生による増
食糧費	0	0	0	0	0	
役務費	0	0	20,000	17,982	△ 2,018	
補助金	0	0	0	0	0	
負担金	500,000	500,000	500,000	461,460	△ 38,540	
4 研究開発等補助事業	21,032,000	37,032,000	21,084,000	16,029,332	△ 5,054,668	
報償費	26,000	26,000	80,000	77,560	△ 2,440	
旅費	3,000	3,000	0	0	0	
食糧費	1,000	1,000	0	0	0	
役務費	2,000	2,000	4,000	3,472	△ 528	
補助金	21,000,000	37,000,000	21,000,000	15,948,300	△ 5,051,700	新型コロナウイルス感染症対応医工連携医療関連機器等研究開発推進事業 次年度支出(繰越)13,399,000円
5 専門家派遣事業	554,000	554,000	180,000	166,400	△ 13,600	
報償費	300,000	300,000	100,000	91,320	△ 8,680	専門家派遣実績による減
旅費	254,000	254,000	80,000	75,080	△ 4,920	専門家派遣実績による減
6 販路開拓・拡大事業	17,380,000	48,126,000	26,308,000	25,817,824	△ 490,176	
報償費	0	0	80,000	76,020	△ 3,980	
委託料	6,600,000	37,346,000	15,648,000	17,005,220	1,357,220	おおいた産感染症対策機器・医療関連機器等情報発信事業 次年度支出(繰越)6,724,000円 おおいた産製品海外展開支援事業 次年度支出(繰越)12,622,000円
その他需用費	500,000	500,000	500,000	57,860	△ 442,140	
使用料及び賃借料	950,000	950,000	4,600,000	4,570,830	△ 29,170	
旅費	820,000	820,000	10,000	2,450	△ 7,550	展示会出展対応旅費の減
食糧費	300,000	300,000	0	0	0	展示会出展負担金を賃借料へ変更
役務費	110,000	110,000	310,000	308,314	△ 1,686	
補助金	5,600,000	5,600,000	5,000,000	3,646,470	△ 1,353,530	
負担金	2,500,000	2,500,000	160,000	150,660	△ 9,340	
7 コーディネータ配置事業	3,709,495	3,709,495	3,638,895	3,519,637	△ 119,058	
給料	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,596,562	△ 3,438	
職員手当等	62,000	62,000	72,000	70,359	△ 1,641	
共済費	447,000	447,000	447,000	432,399	△ 14,601	
旅費	60,000	60,000	60,000	10,800	△ 49,200	
使用料及び賃借料	540,495	540,495	459,895	409,517	△ 50,178	
当期支出合計(B)	54,717,495	101,463,495	63,790,695	57,069,582	△ 6,721,113	
当期支出差額(A)-(B)	0	0	0	6,721,336	6,721,336	